

申3号

「2026年3月ダイヤ改正及び浦和統括センター乗務ユニットの融合について」  
の申し入れ

【  : 組合、  : 会社】

2月12日開催 交渉要旨その1

## 《全線区共通》

1. 休日出勤を常態化させない要員を配置すること。

(回答) 業務に必要な体制は確保していく考えである。

- 休日出勤の数は？
- 休日出勤が多いという認識はあるか？
- 指導担当が乗務していて職場に居ない現実がある！

- 各箇所で把握している。
- 年間を通して波がある。一時的に厳しい状況(行事イベント、私傷病等)はある。会社として対応している。
- 必要な業務が出来るように体制を整えている。

2. 睡眠を目的とした休養時間が短くなっている。睡魔にまつわる事象も増えていることから、睡眠の質向上への対策を取ること。

(回答) 行路の設定については、乗務割交番作成規程に基づいて行っているところである。また、必要な環境整備は行ってきたところである。

- 乗務距離や拘束時間が延びている！
- 着発6時間ピッタリがある。睡眠時間確保のため、入浴しない選択せざるを得ない！
- 寝具等の改善は？
- シーパップを使用している社員は、病院から「4時間以上付けて」と指導されている！

- 列車ダイヤに左右されている。睡眠・食事時間の確保、拘束時間(とのバランス)を考えている。
- 努力してもらっていることは重々承知している。(埼京は)5、6時台出区電車(の行路で睡眠時間)が短くなる傾向にある。
- シモンスのベッドや、仮眠チェアで対応している。出来るところは改善していきたい。
- 要望を加味した行路が難しいところはあるが、引き続き考えていきたい。

**慢性的な要員不足が休日出勤の常態化を招いているのは  
明らか！ 休日は気兼ねなく休める要員体制を確保すべきだ！**